

大野市赤兎山で発見されたカオジロ トンボを含むトンボ類の採集記録

下野谷 豊 一*

カオジロトンボ *Leucorrhinia dubia orientalis* Selys は、日本では北海道・本州に分布し、本州では標高 1,300 m ~ 2,200 m の高地の湿原に局所的に分布する寒地性のトンボで、岐阜県大野郡高根村日和田高原が現在知られる南限の分布地である。

ところが、1976年7月18日に大野市赤兎山(1629 m)へ蝶の採集に出かけた笠松泰洋氏(当時藤島高校在学中)により、福井県より初めての1♂(Fig.1)が山頂付近で採集された。

さらに、1979年7月6日に写真撮影を兼ねて赤兎山を訪れた際、極めて多数のアキアカネに混って山頂近くの2ヶ所の小さな湿地で生息が再確認でき、また生息状況も観察できたので、日本における南西限の分布地として記録する。この日採集した3♂および目撃したものは全て♂ばかりで♀は見られず、また1ヶ所の湿地では幼虫の確認もでき、この頃が発生の初期と考えられる。

この他、小原峠からの途中でミヤマサナエ 1♂も得ている。

次に、トンボ類の最近の採集品の一部について記録する。

○金津町笹岡 June 4, 1979. 下野谷採集

クロイトトンボ 5♂ 4♀, トラフトンボ 3♂ 1♀(Fig.2), ヨツボシトンボ 1♂, シオヤトンボ 1♀, ショウジョウトンボ 1♀

○大野郡和泉村和田山 Aug. 18, 1979. 渡辺定路氏採集

アオイトンボ 1♂ 2♀(腹長28~29mm) (Fig.3)

○福井市国見岳山頂付近 Aug. 26, 1979. 下野谷採集

オオルリボシヤンマ 3♂ 1♀, タカネトンボ 1♂, オオシオカラトンボ 1♂ 1♀

○福井市奥平町 Sep. 6, 1979. 下野谷採集

ミルヤンマ 1♂ 本種については、先に南六呂師で採れた1♀により福井県に分布することが記録されており、2ヶ所目の分布地である。

終りに、貴重な採集品を御恵与いただいた笠松泰洋氏・渡辺定路氏に深謝申し上げる。

参考文献

福井県博物学会編(1938): 原色福井県昆虫図譜

石田昇三(1969): 原色日本昆虫生態図鑑(II), 保育社

松井一郎(1976): 日本産蜻蛉類分布表図(中日本蜻蛉談話会)

安藤 尚(1977): 岐阜県のカオジロトンボの新産地, 「昆虫と自然」, vol.12, No.13.

安藤 尚(1979): 東海地方を分布西南限とするトンボ5種, 「昆虫と自然」, vol.14, No.6.

* 福井市宝永3丁目31-12

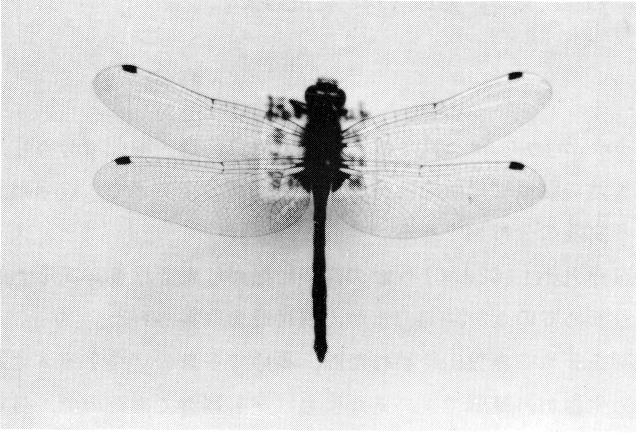


Fig.1

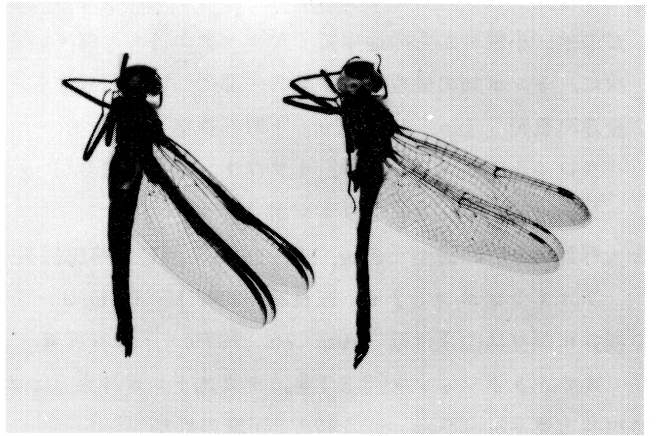


Fig.2

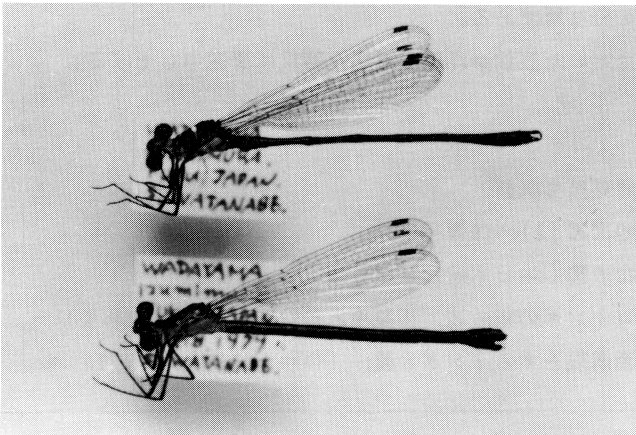


Fig.3